



第10回 **CSデザイン賞**
THE 10TH CS DESIGN AWARDS 1998

目次

審査員講評 永井一正	1
大賞	2
A: 装飾部門	4
B: サイン部門	6
C: 輸送機器部門	8
D: 実験部門	9
第10回CSデザイン賞記念企画:学生部門	10
審査員講評 田中一光 / 福田繁雄 / 菊竹清訓 / 内田 繁	12
第10回CSデザイン賞を迎えて 中川幸也	16
応募要項	
表紙デザイン / 永井一正	

CONTENTS

GRAND PRIX AWARD	2
A: DECORATION CATEGORY	4
B: SIGN CATEGORY	6
C: TRANSPORT MACHINE CATEGORY	8
D: EXPERIMENT CATEGORY	9
THE 10TH CS DESIGN AWARDS COMMEMORATIVE PLAN: STUDENT CATEGORY	10
JUDGES' COMMENTS	14
Kazumasa Nagai / Ikko Tanaka / Shigeo Fukuda / Kiyonori Kikutake / Shigeru Uchida	
THE 10TH CS DESIGN AWARDS	16
Yukiya Nakagawa	
SOLICITATION CONDITIONS	
Cover Design by Kazumasa Nagai	



Kazumasa Nagai

大賞をはじめ充実した作品

永井一正

CSデザイン賞も早いもので第10回となり記念すべき節目を迎えた。ただ前回まで審査委員長としてリードしていただいた亀倉雄策先生が昨年5月急逝されたのは、お元気な先生だっただけに大変残念なことであった。

第10回記念企画として学生作品を募集し、更に中が広がった。CSデザイン賞はA部門からD部門まで4つのカテゴリーに分けられ、それぞれ金、銀、銅賞と、4部門の中から最高賞1点の大賞が贈られるわけであるが、最優秀作品がA：装飾部門に集まり、B：サイン部門は不況によるCIの減少から少し淋しい気がした。しかし全体としてはCSの種類や色彩も増え質が向上したことと、それ等をデザインとして巧みに生かした作品が見られ、充実していたように思う。

なかでも今回の最大の収穫は、大賞の資生堂本社ウインドーディスプレイ〈ルミエール〉である。これは光を意味するLUMIEREをコンセプトに鮮やかな視覚を提示している。恐らくCSをこのように時間の経過による変化として演出し見事に変容してみせたことは今までなかったように思う。ガラス面の中央部に横に一直線にのびた黄色の帯は一定の期間を経てシートがカットされて、LUMIEREという文字が表われ、CSの2色の黄とガラスの相乗効果により光を感じることができる。また、メインウインドーでは立体文字が繊細な美しさを湛えながらライトにより黄色から黄緑に変化するさまは幻想的である。CSの新しい使い方によるデザインの完成度は大賞にふさわしい。

装飾部門金賞の講談社新社屋建築工事仮囲いは本を入れた本棚がグレーの濃淡で立体的に表現され、喧騒の工事現場を囲む静謐なたたずまいとなっている。全体を覆うグレートーンのなかに所々に矩形の赤ベタに白抜きでKodanshaの文字が配され、それがデザインを引き締めるアクセントになっており、仮囲いとして大変新鮮であった。この部門では秀作が多いため銀賞となったが、愛知県児童総合センターのプログラム〈おおきさくらべ〉のデザインも気持ちの良いものであった。大きな一面のガラス面にスリガラスのようなCSを使用し色々な動物や鳥、そして人間が配されているが、それ等が実物大になっているため、児童達は自分の背とくらべて楽しむことができる。朝、昼、夕、そして夜のライティングと時間によって、それ等のシルエットの見え方が様々に変化し美しい。

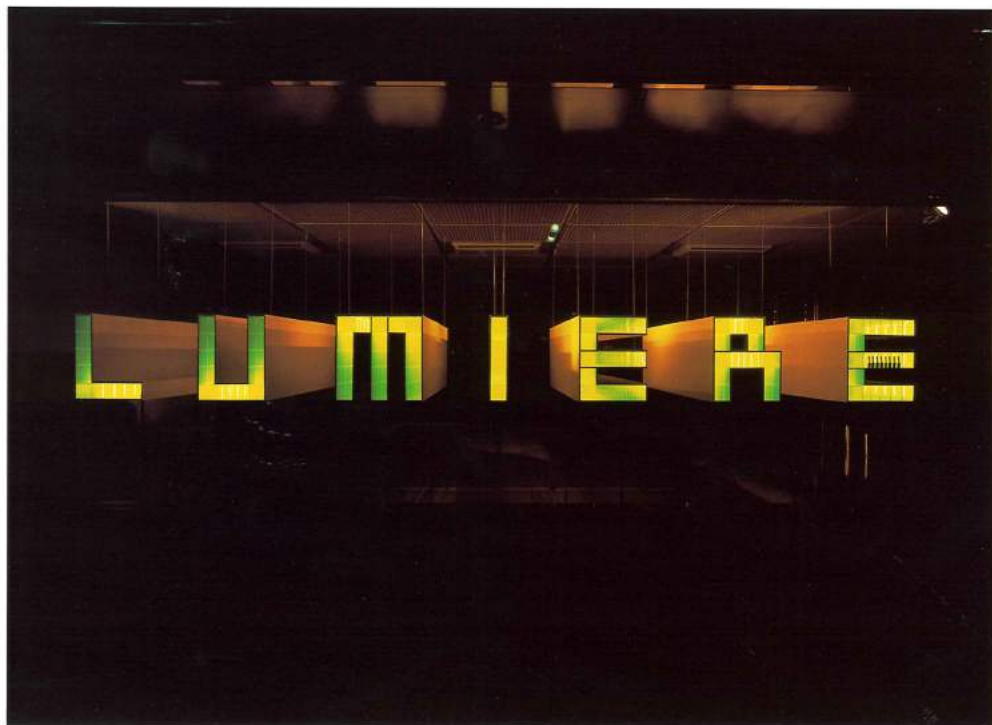
B部門金賞のシミズ技術フェア'98はこの会場全体を様々に色わけしたCSでおおい、シンブルな線とタイポグラフィによってサインとしての役割りを果たす共に、気持ちの良い空間を構成していた。他にD部門の金賞〈INFINITE LIGHT〉は屋根に貼られた様々な色彩のCSが光を通して室内に映り、ステンドグラスの中を歩くような光の色彩に包まれ、高揚した体感を味わうことができる。学生賞はそれぞれ仮囲いデザインに挑戦しているのだが、のびのびとした感性があるもののこの部門の充実を計るには、一層の勉強と努力が必要であろう。ともかく第10回も大賞を初めとする優れた作品を選ぶことができたのは喜ばしいと思う。

(グラフィックデザイナー)

大賞

作品名／資生堂本社ウィンドーディスプレイ〈ルミエール〉

クリエイティブディレクター／太田雅雄
アートディレクター・デザイナー／工藤青石
クライアント／株式会社資生堂
施工・加工／有限会社現代工房



GRAND PRIX AWARD

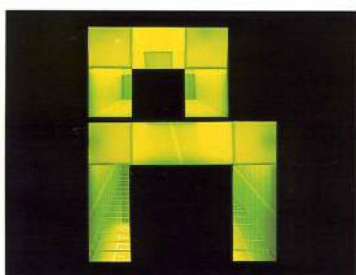
Title / Shiseido Window Display "Lumiere"

Creative Director / Masao Ohta

Art Director + Designer / Aoshi Kudo

Client / Shiseido Co., Ltd.

Constructor + CS Processor / Gendai Kobo



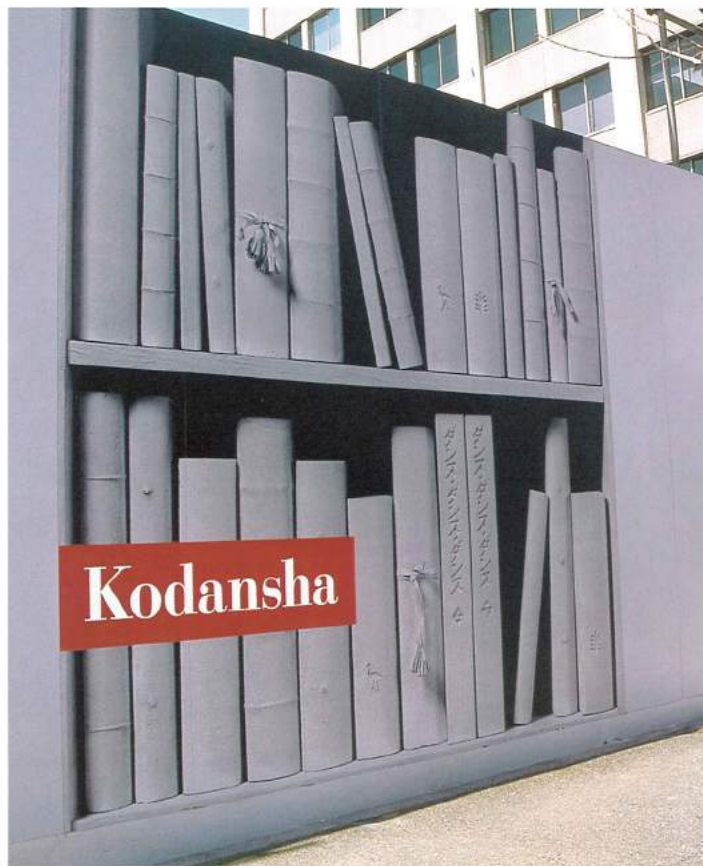
A: 装飾部門

金賞 作品名/講談社新社屋建設工事 仮囲いデザイン

ディレクター・デザイナー/菊竹 雪

クライアント/株式会社講談社

施工/株式会社ローヤルカラー



A: DECORATION CATEGORY

Gold Award Title / Graphics on the Temporary Fence,
Kodansha Building Construction Site

Director + Designer / Yuki Kikutake

Client / Kodansha Ltd.

Constructor / Loyal Color

銀賞 作品名／子どもの遊びをひろげるための環境設定〈おおきくらべ〉

ディレクター／田嶋茂典
デザイナー／堀 千春
イラストレーター／千石純奈
クライアント／愛知県児童総合センター



Silver Award Title / Aichi Children's Center Program Design

"Comparing Size"

Director / Shigenori Tajima
Designer / Chiharu Kaji
Illustrator / Sumina Sengoku
Client / Aichi Children's Center

銅賞 作品名／マルハン女化店(茨城県) パチンコ店(左)

ディレクター／前田穂積
デザイナー／大西弘志+有田社ビジュアルリンク
クライアント／株式会社マルハン・コーポレーション
施工／株式会社乃村工務社
施工／株式会社オックスプランニングセンター

作品名／トッパン・マルチメディア・フェア '97(右)

ディレクター／白須良也子+濱野弘敬
デザイナー／宮田 聡+塚本昌都
クライアント／凸版印刷株式会社
施工／トッパン・マルチメディア・フェア
加工／株式会社昭栄美術



Bronze Award

Title / Maruhan Pachinko Parlor (Left)

Director / Hozumi Maeda
Designers / Hiroshi Ohnishi and Via Bo, Rink Co., Ltd.
Client / Maruhan Corporation
Constructor / Nomura Co., Ltd.
CS Processor / Okks Planning Center

Title / Toppan Multimedia Fair '97 (Right)

Directors / Mayako Shirasu and Hirotsuka Hamano
Designers / Minoru Miyata and Masato Tsukamoto
Client / Toppan Printing Co., Ltd.
Constructor / Toppan and Three S
CS Processor / Shoji Art Co., Ltd.

B: サイン部門

金賞 作品名/シミズ技術フェア '98

クリエイティブディレクター/清水建設株式会社設計本部デザインセンター

アートディレクター・デザイナー/ 皆内良幸

クライアント/清水建設株式会社

エージェンシー/株式会社エスシークリエイティブ

施工・加工/ダイテック株式会社



B: SIGN CATEGORY

Gold Award Title / Shimizu Technology & Engineering Fair '98

Creative Director / Design Center, Design Division, Shimizu Corporation

Art Director + Designer / Yoshiyuki Takeuchi

Client / Shimizu Corporation

Agency / SC Create Inc.

Constructor + CS Processor / Daitec

銀賞 作品名/金沢信用金庫ビジュアルアイデンティティ

クリエイティブディレクター/若本武俊
ディレクター/太田 岳
デザイナー/太田 岳+吉永三恵+桑田 修
クライアント/金沢信用金庫
エージェンシー/第一企画株式会社
施工/株式会社アドセンター
加工/株式会社タクト



Silver Award Title / Kinshin, The Kanazawa Shinkin Bank

Creative Director / Taketoshi Wakamoto Director / Gaku Ohta
Designers / Gaku Ohta, Mie Yoshinaga and Osamu Kuwata
Client / The Kanazawa Shinkin Bank
Agency / Dai-ichi Kikaku Co., Ltd.
Constructor / AD Center Co., Ltd.
CS Processor / Tact Inc.

銅賞 作品名/メトロポリタン銀行ビジュアルアイデンティティ

デザイナー/メトロポリタン銀行
クライアント/メトロポリタン銀行東京支店
施工/井上総業株式会社



Bronze Award Title / Metropolitan Bank and Trust Company

Designer / Metropolitan Bank and Trust Company
Client / Tokyo Branch, Metropolitan Bank and Trust Company
CS Processor / Inoue Sogyo Co., Ltd.

C: 輸送機器部門

銀賞 作品名/マイクロソフト・ワードのキャンペーンカー

ディレクター・デザイナー/大島 明
クライアント/マイクロソフト株式会社
エージェンシー/株式会社ビレッジ
施工・加工/株式会社コムカット



銅賞 作品名/収集車のサインシステム

ディレクター/高橋修宏
デザイナー/伊藤久恵+宮田裕美詠
クライアント/株式会社アルト
エージェンシー/有限会社クロス
施工・加工/有限会社フロム



C: TRANSPORT MACHINE CATEGORY

Silver Award Title / Microsoft Word Campaign Car

Director + Designer / Akira Oshima
Client / Microsoft Co., Ltd.
Agency / Village
Constructor + CS Processor / Comcut Ltd.

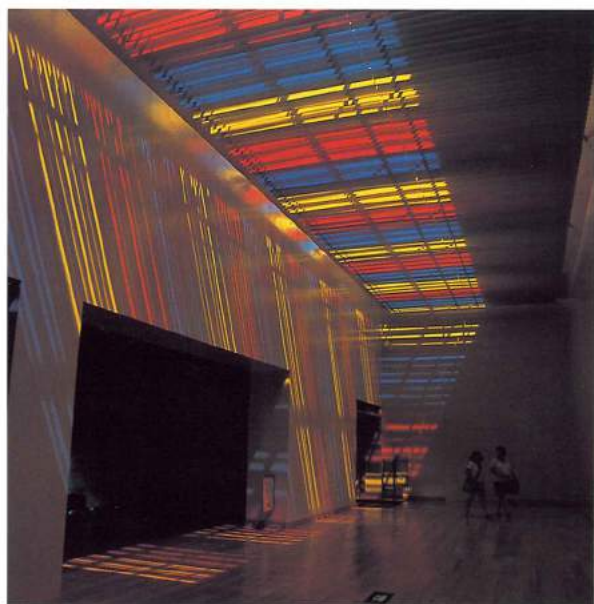
Bronze Award Title / Garbage Truck Sign System

Director / Nobuhiro Takahashi
Designers / Hisae Ito and Yumiko Miyata
Client / Alt Co., Ltd.
Agency / Cross Inc.
Constructor + CS Processor / From Inc.

D: 実験部門

金賞 作品名／〈インフィニイトライト〉宇都宮美術館のエントランスホール(上)
大崎駅O歩道橋(下)

ディレクター・デザイナー／吉田重信



D: EXPERIMENT CATEGORY

Gold Award Title / "Infinite Light," Utsunomiya Museum of Art Entrance Hall (Top) and Ohsaki Station Pedestrian Bridge (Bottom)
Director + Designer / Shigenobu Yoshida

銅賞 作品名／〈プレゼンツ〉
ディレクター・デザイナー／高桑佳奈



Bronze Award Title / "Presents"
Director + Designer / Kana Takakuwa

第10回CSデザイン賞記念企画：学生部門

金賞 仮面いの装飾デザイン

デザイナー／ 程 彦平
宮城教育大学 教育学部研究生

銀賞 仮面いの装飾デザイン

デザイナー／ 落合香奈
神戸松蔭女子学院短期大学
生活造形学科 服飾デザインコース

銅賞 仮面いの装飾デザイン

デザイナー／ 岩田 佳
職業訓練法人 大阪ヒューマンアカデミー長瀬校
商業デザイン科 グラフィックデザイン専攻

金賞



学生部門：募集要項および応募報告

この度第10回CSデザイン賞開催を記念して、学生部門を設け、広く学生作品を募集しました。

募集作品は、中川ケミカル社製の装飾用シート(商品名NOCSS2500)の使用を前提としたデザインとし、以下のカテゴリーに分類しました。

- (1) 工事現場仮面いの装飾デザイン
- (2) 車両の装飾デザイン(警察、消防、救急などの緊急車両や郵便などの特別車を除く)
- (3) 児童館のファサード・玄関ホールの装飾デザイン

- (4) 自由課題(平面・立体を問わず実験的なもの)

募集期間1997年11月1日～1998年1月31日。審査は本賞の審査員によって、CSデザイン賞の審査と同時に進められ、金、銀、銅賞を選出。入賞者には、それぞれ金賞30万円、銀賞20万円、銅賞10万円の賞金と楯および賞状を贈呈します。

3カ月の募集期間中、全国より260点の応募があり、カテゴリー別の内訳は、(1)244点、(2)9点、(3)4点、(4)3点でした。

なお、本賞と同様の諸団体よりご協力をいただきました。

COMMEMORATIVE PLAN: STUDENT CATEGORY

Gold Award

Temporary Fence Decoration Design

Designer / Cheng Yan Ping, research student,
Faculty of Education, Miyagi University of Education

Silver Award

Temporary Fence Decoration Design

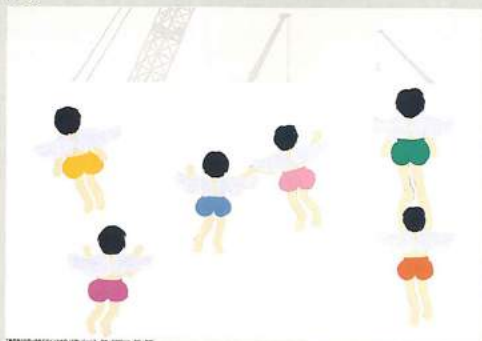
Designer / Kana Ochiai, Fashion Design Course,
Department of Creative Design, Kobe Shoin Women's College

Bronze Award

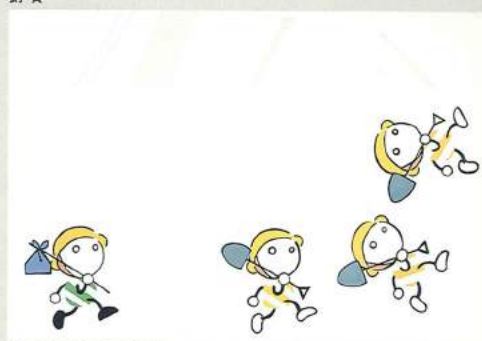
Temporary Fence Decoration Design

Designer / Kei Iwata, Department of Graphic Design,
Osaka Human Academy

銀賞



銅賞



10th CS Design Awards Commemorative Plan: Student Category: Solicitation Conditions and Report

To commemorate the 10th CS Design Awards, we newly established the Student Category and solicited works by students.

The works to be submitted had to be designed and produced using cutting sheet (NOCSS2500) made by Nakagawa Chemical Inc. The works submitted were divided into the following four categories:

1. Decorative design of construction site temporary fences.
2. Decorative design of vehicles (excluding special vehicles such as police cars, fire trucks, ambulances and mail trucks).
3. Decorative design of facades and entrance halls of children's halls.
4. Free theme, (experimental works, can be either two- or three-dimensional).

The solicitation period was from Nov. 1, 1997, to Jan. 31, 1998. Judging

was carried out simultaneously with the judging for the CS Design Awards by the CS Design Awards judges and the winners of the Gold Award, Silver Award and Bronze Award were selected. The Gold Award winner will be given ¥300,000, a plaque and a certificate, the Silver Award winner, ¥200,000, a plaque and a certificate, and the Bronze Award winner, ¥100,000, a plaque and a certificate.

During the three-month solicitation period, 260 works were submitted from throughout the nation. The number in each category was: (1) 244, (2) 9, (3) 4 and (4) 3.

Here we would like to acknowledge the kind cooperation of the various associations supporting the CS Design Awards.



Ikko Tanaka



Shigeo Fukuda

CSデザイン賞はますます本格的になってきた。大賞になった資生堂のウィンドーディスプレイ〈ルミエール〉などは、どのデザインコンペに出品しても遜色のない、現代的なコンセプトと完成度の高い造形をもっている。

まず発想がよい。黄色のボーダーが目を追って剥がれてゆき、ロゴが浮かび上がってくる。容易に剥がれるというシートの特性が十分に生かされ、平面から立体へと変貌するという意図はまるで現代美術だ。しかも、新商品のプロモーションであるという視点がしっかりと、とらえられている。

A部門金賞の講談社の工事団いの壁画もいい。モノクロームの書架の絵が出版社らしい強いインパクトをもっているが、街のひとつの景観になっているのが素晴らしい。こんなに知的で美しい仮囲いなら、どこの街でも歓迎されるだろう。

銀賞の児童総合センターはガラス壁面に、すりガラス調のシートを使って、動物の大きさを強調している絵が秀逸だ。光でネガとなり、ポジになり、子供への参加性をもっている点でも、このデザインは非常に優れている。

B部門は、このカテゴリーの志になっているC-1が不況でふるわず、2つ銀行のサインがわずかに面目を保っていたが、シートの使い方としては平凡。その点、金賞の〈シミズ技術フェア'98〉のオフィスを短期間ショーの会場として使う試みに、原色のシート貼りのパネルが効果を上げている。

C部門には今年いいアイデアがなかった。〈マイクロソフト・ワードカー〉は、少ない色とグラデーションを使って品がいい。銅貨の収集車もシルバーを地色にして緑、青、赤のロゴがうまく収まっているが、いずれも堅実なデザインだ。

D部門の実験作品は、金賞の〈INFINITE LIGHT〉が圧倒的に面白い。シートが、まるで教会のステンドグラスのように強い太陽の光をうけてダイナミックな効果を上げている。

CSデザイン賞も第10回を迎えて、いっそう充実し、「シート・アートの時代」の到来を思わせるものがある。

(グラフィックデザイナー)

あらゆる造形の審査を終えると、何時も、何故か選ばれた作品に不満があって、虚しさが残るものです。しかし、今回のCSデザイン賞は素晴らしい作品が多く、審査が本当に楽しかった。大賞に輝いた〈ルミエール〉はウィンドーという固定された限定空間に「時間」という新しいエレメントを導入した演出の効果でした。時間の経過によってビジュアルなメッセージが明確になってゆくといった手法は海外のハイウエイ・ビルボードなどに応用された前例はありますが、〈ルミエール〉はCSという素材の特徴(貼って、剥がす)を生かして使用し、デザイン機能を適確に果たした見事な秀作だといえます。入賞作品で私を有頂天にさせたのは〈講談社新社屋建築工事仮囲いデザイン〉でした。出版社と書籍、本と本棚、平凡なエレメントをどの様に結びつけるのか、そして、仮囲いという現実の壁にどのように定着させるのか。この問題を、モノクロのビジュアルリレーションというデザインで格調さある面白さで完結させた傑作だと思います。この種の建築現場の仮囲いは、現場の盛況で処理されるケースが多く、何カ月もの間、そこを通る人々の心情を考えることは無かったように思います。一つの解決をこの作品が見事に実現してくれたと思います。学生部門は第1回ということもあって、実験も、冒険も、若い発想も見つけることは出来ませんでした。

デザインに必要な発想はテーブルワークではなく、現実的な工事現場とは何か、なぜ仮囲いが必要なのか、などと考えると独創的なデザインが生れるのだと思います。

デザインとは、現代社会を正面から考え、見つめることだということを、確かな一歩とした作品を次回に期待したいと思います。

(グラフィックデザイナー)

空間表現の世界に、材料進歩の影響が静かに訪れていることを「カッティングシート」の審査で感じさせられた。

カッティングシートを使った領域・分野の拡大と利用方法の多様性には、今回も驚かされたが、これらは単なる広告宣伝の媒体を越えて、環境表現としての独自の地位を占めつつあるように思われる。

それだけに、建築家の立場から、このカッティングシートを使った作品、もはや作品というべき創造の審査に立ち会って、その見事さ、楽しさ、豊かさに目を奪われる思いがした。

しかも透明感をもった材料・色彩、さらにコンピュータによるカットなどで、実に複雑・微妙な効果をあげており、さらにこれに照明が加わって、全く新しい表現を生み出し始めていることに、私は驚かされた。

表現にとって、塗料に代わる実に便利な材料が、できたものである。この材料が、ガラス壁面と出会うと不思議な現代的雰囲気をもたして、街の明かりがかわかっている。

カッティングシートの特徴は、貼ってすぐ仕上げられることと同時に、また容易に美しくはがすことができることである。

今年のグランプリの資生堂本社のデザインは、ユニークで黄色の帯という、簡明な表現であったが、このはがす事を活かしたデザインで、3カ月の間に、少しづつ部分をはがしていく、プロセス効果をねらった、しゃれたデザインであった。

装飾部門金賞の受賞者は、知人なので他の審査評に譲ることとし、サイン部門金賞の清水建設のインテリアデザインも同様のカッティングシートの特徴をわきまえたイベント対応のテンポラリー・デザインとして、秀逸であった。

ある時突然、色彩と文字による環境づくりが容易にできることを証明して、好感がもてた。

この他、立体感やサイン性を新たに開拓した創造性豊かな多数の成果をみせられて、これが都市環境や、動く自動車、装置に及んできており、環境の進化に迫ってきたという思いであった。私は次の審査に期待をふくらませている。

(建築家)

毎年の審査を通して感じることなのだが、年々カッティングシートの使われ方がうまくなってきた、といったことである。仮設的なものから常設的な建築にいたるまで、カッティングシートは使われている。それは、他の素材では得ることのできない特性、色彩の美しさを持っているからだろう。カッティングシートはもはや建築にとっても欠くことのできない素材となっている。

さて、本年度の応募作品だが、おそらく私が審査に加わって以来もっとも素晴らしいものだったように感じる。特に装飾部門においては、賞に残ったもの以外にも落とすにはしのびないようなできであった。なかでも大賞に選ばれた資生堂本社のウィンドーディスプレイは、時間の経過とともに変化していく表現方法でカッティングシートの簡便性をうまく利用したものであった。何日間にわたっての変化は、黄色の色彩の美しさと形態の単純さによって連続した表現を可能にしている。さらに装飾部門金賞の講談社の仮開きのデザインは、ときに仮開きのデザインに意味のない表現が多いなか、出版社としての特性である「本」そのものをデザイン化したことは、秀逸であった。サイン部門の金賞である、シミズ技術フェア98はコーポレート・アイデンティティを色彩空間で表したものである。その単純さと明解さは、カッティングシートの本質をうまく引き出したものだろう。

こうした作品を見るにつけ、カッティングシートの可能性は年々飛躍しているように感じる。この審査の楽しみは、新たな挑戦を見ることにある。一層の飛躍を期待したいと思う。

(インテリアデザイナー)



Kiyonori Kikutake



Shigeru Uchida

Many Full-Bodied Works Submitted

Kazumasa Nagai

The CS Design Awards marked the 10th competition this year, a commemorative turning point. That Yusaku Kamekura, who served as chief judge up to the 9th CS Design Awards 1996, died suddenly in May 1997 was very regrettable since he had been so energetically healthy up to then.

Student works were solicited as a commemorative plan of the 10th CS Design Awards, so that the CS Design Awards were further expanded.

The CS Design Awards are divided into four categories from A: Decoration Category to D: Experiment Category with gold, silver and bronze awards given in each category. Furthermore, the Grand Prix Award is given to the most outstanding work in all four categories.

Outstanding works were concentrated in the A: Decoration Category, and the B: Sign Category seemed somewhat cheerless because of the reduction in CIs due to the continuing economic recession. But overall I felt that the competition was enriched because the types and colors of CS had increased in number and their quality had been improved. There were many works skillfully utilizing CS as design.

Among them, the biggest yield this year was the Shiseido window display, Lumiere, which won the Grand Prix Award. With Lumiere, which means light, as the concept, this work presents a vivid visual form. I feel that never before had there been a work which had CS change so remarkably with the passage of time.

The yellow band extending in a straight line in the center of the glass surface had part of the CS cut after a certain period of time and the word Lumiere appeared. Through the multiple effects of the two yellow colors of the CS and the glass, it is possible to feel the light. On the window, the three-dimensional letters changing with the light from yellow to yellowish green, while filled with delicate beauty, is fantastic. The perfection of design through the new use of CS was worthy of the Grand Prix Award.

The Kodansha new building construction site temporary fence, which won the Gold Award in the A: Decoration Category, three-dimensionally expressed bookshelves containing books with light and dark grays and turned the fence into a tranquil form surrounding a noisy construction site. Amid the gray tone covering the entire fence,

the white word Kodansha on a red background was placed here and there, serving as accents to tighten the design. It is very refreshing as a temporary fence.

The Aichi Children's Center program design, which was selected for the Silver Award because there were many outstanding works in the A: Decoration Category, was also a pleasant one. CS like frosted glass was used to arrange various animals, birds and human beings on a big glass surface. Because the figures are life-size, children can enjoy comparing their heights with those of the figures. The silhouettes change in various ways, depending on the time, whether it's morning, afternoon or evening and the lighting at night, and are very beautiful. The Shimizu Technology & Engineering Fair '98 design, which won the Gold Award in the B: Sign Category, covered the entire site with CS of various colors. While effectively serving as a sign with simple lines and typography, it also created a pleasant space.

In Infinite Light, which won the Gold Award in the D: Experiment Category, the light reflected the varicolored CS pasted on the glass roof inside the room. Consequently, people were wrapped in colored light and felt they were walking beside stained glass, savoring an uplifting experience.

The works submitted in the Student Category challenged temporary fence design and contained unfettered sensitivity. But in order to make this category more substantial, further studies and efforts by students are probably necessary.

At any rate, I feel gratified that I was able to select excellent works for the various awards, beginning with the Grand Prix Award, in the 10th CS Design Awards.

Graphic Designer

Age of Cutting Sheet Art

Ikko Tanaka

The CS Design Awards have become even more substantial. The Shiseido window display, Lumiere, which won the Grand Prix Award, had a modern concept and a high perfection level form that would have done well in any design competition.

First of all, the idea is good. The yellow border is peeled off as the days pass, and the logo emerges. The special feature of the CS of being easy to peel off was fully utilized, and the changeover from a plane surface to a three-dimensional form was completely modern art. Furthermore, the

viewpoint that it is promotion of a new product was firmly grasped.

The wall surface of the Kodansha new building construction site temporary fence, which won the Gold Award in the A: Decoration Category, is also superb. The monochrome picture of bookshelves had a strong impact worthy of a publishing firm, and the fact that the work is a spectacle of the town is splendid. Any town would welcome such an intellectual and beautiful temporary fence.

The Aichi Children's Center glasswall, which won the Silver Award in the A: Decoration Category, used frosted glass type CS, and the pictures stressing the size of animals were excellent. Depending on the light, they became negatives or positives. This design is very superior on the point that children can participate.

The B: Sign Category did not flourish because of the slump in CIs, which comprise the core of this category. The signs of two banks barely sustained the honor of this category, but the way they used CS was commonplace. On this point, in the experiment of using the office space as a short-term show venue of the Shimizu Technology & Engineering Fair '98, which won the Gold Award in the B: Sign Category, the panels on which primary color CS was pasted produced good results.

There were no good ideas this year in the C: Transport Machine Category. The Microsoft Word car design used few colors and gradations and had elegance. The garbage truck design, which garnered the Bronze Award, had silver as the ground color on which the green, blue and red logo was set, but both were solid designs.

In the D: Experiment Category, Infinite Light, which won the Gold Award, was overwhelmingly like the stained glass in a church with the CS catching the strong sunlight and producing a dramatic effect.

With the 10th CS Design Awards competition, the designs have become much more substantial and foretell the arrival of the "sheet art age."

Graphic Designer

Utilizing the Special Feature of CS

Shigeo Fukuda

After completing judging of all kinds of art and design works, I am always inexplicably dissatisfied with the works selected for the various awards, and I have a sense of futility. But there were many excellent works submitted this year, so that judging was really enjoyable.

Lumiere, which won the Grand Prix Award, was a presentation which introduced a new element, "time," into a fixed, restricted space, a window. As for the method in which the visual message becomes clear as time passes, there is the precedent of the method being used in overseas highway billboards. But Lumiere utilized the special feature—paste on and peel off—of the material called cutting sheet, and it can be called a brilliant work which competently performed its design function.

Among the award-winning works, the one that made me ecstatic was the Kodansha new building construction site temporary fence design. How were they going to tie together such ordinary elements as a publishing firm and publications, books and bookshelves? And how were they going to affix them to a temporary fence? I believe that this is a masterpiece which resolved with stylish amusement with a monochrome visual illusion design.

This type of construction site temporary fence tends, in many cases, to be handled from the standpoint of the construction site, and does not take into consideration the feelings of the people who pass by the construction site for several months. I believe that this work produced a wonderful solution.

Possibly because it was the first time for the Student Category, I was unable to detect experimentation, adventure and young ideas in the works submitted in this category.

Ideas necessary for design are not born from working at the drawing board, and I believe that if the designer considers what the actual construction site is and why a temporary fence is necessary, he will be able to create original designs.

I hope that in the next CS Design Awards competition, there will be works which have taken a definite step forward toward the thinking that design means considering and intently watching modern society head on.

Graphic Designer

CS Affecting the Space Expression

Kiyonori Kikutake

In judging the CS Design Awards competition, I was made to feel that the effects of advances in materials are quietly affecting the world of space expression.

This time also I was surprised by the expansion of the scope and fields utilizing cutting sheets and

the diversity of utilization methods, but I felt that they had gone beyond being media for mere advertising and publicity and are now occupying unique positions as environmental expressions. That is why, while serving as a judge of these creative works using cutting sheets, my attention was drawn to their excellence, entertainment value and richness.

Furthermore, they have achieved very complicated and subtle effects with transparent material and colors and with cutting by computer. I was shocked by the fact that the addition of illumination has begun to give birth to a completely new expression.

A very convenient material to replace paint has appeared for expression. When this material meets up with a glass surface, a mysterious, modern atmosphere is created, and the town becomes refreshed.

The special feature of the cutting sheet is that it can be finished immediately after it is pasted on and that, at the same time, it can be easily and cleanly peeled off.

The design of Shiseido, Lumiere, which won the Grand Prix Award, was a concise expression in the form of a unique, yellow obi or belt, but it was a design which made use of the peeling off function. It was a stylish design aiming at the process effect with parts being peeled off little by little over a period of three months.

The winner of the Gold Award in the Decoration Category is a personal friend so I will leave comment on it to other judges, but the interior design of the Shimizu Technology & Engineering Fair '98, which won the Gold Award in the Sign Category, was superb as a temporary design for an event taking into consideration the special feature of the cutting sheet. It proved that an environment can be easily created using just colors and letters, thereby giving a favorable impression.

Also, shown the richly creative, numerous effects which freshly developed three-dimensionalism and sign character and seeing these effects extending to the city environment and moving cars and equipment, my feeling was that they had approached the evolution of the environment. I have great hopes for the 11th CS Design Awards competition in 2000.

Architect

Changing Expression with the Passage of Time

Shigeru Uchida

What I always feel when judging works for the CS Design Awards every two years is that designers are becoming better year by year in using cutting sheets. Cutting sheets are now used in temporary as well as permanent structures. This is probably because cutting sheets have beautiful colors and special features unavailable in other materials. Cutting sheets have now become a material indispensable for architecture.

As for the works submitted in this year's CS Design Awards competition, I feel they were the most brilliant ones since I began serving as a judge. Particularly in the Decoration Category, there were so many excellent works, besides those that won awards, that I was loath to scratch them from the list of award winners.

Among them, the Shiseido window display, which was selected for the Grand Prix Award, effectively utilized the convenient feature of the cutting sheet by the expression method of changing with the passage of time. The change over several days made possible a continuous expression through the beauty of the yellow color and the simplicity of the form. Furthermore, the design of the temporary fence around the Kodansha building construction site, which won the Gold Award in the Decoration Category, was excellent in that, whereas there are many meaningless expressions in temporary fence designs, it turned "books," which are the special products of publishing firms, into design.

The Shimizu Technology & Engineering Fair '98 work, which won the Gold Award in the Sign Category, expressed the corporate identity with colored space. Its simplicity and lucidity apparently effectively drew out the essential qualities of the cutting sheet.

While looking at such works, I felt that the possibilities of the cutting sheet are expanding year by year. The pleasure of judging lies in seeing new challenges. I am looking forward to even greater advances.

Interior Designer

この度、第10回CSデザイン賞の開催に当たり、全国から応募された皆様をはじめ、審査の労を惜しみなくとってくださった諸先生方、また、これまでと変わらぬご支援を頂いた諸団体、関係各位の方々に改めてお礼申し上げます。

CSデザイン賞は、色彩の及ぼす環境問題を考慮して1982年に設立、第1回が開催されました。

塗る塗料から貼る材料として開発された弊社のシート商品は、その使い易さから、サインやショーウィンドーの装飾、ビルの工事現場仮囲いなど屋内、屋外を問わず広く販路を広げてまいりましたが、その一方、便利さは色のカオスを起こし兼ねません。この問題を少しでも良い方向に解決してゆくことを念願してCSデザイン賞を設けてまいりました。幸い皆様のご理解、ご支援を得て第10回の節目を迎えるに至りました。

また前回、紹介させて頂きました〈NOC2500〉屋外装飾用シートのカラースystemが昨年〈通商産業省選定 グッド・デザイン商品 '97〉で中小企業庁長官特別賞

を受賞いたしました。この度、本賞の記念企画として学生部門を設け〈NOC2500〉のカラースystemを使って頂き、作品の募集を試みました。

今回、誠に残念なことは、前回までお元気に審査委員長を務められた亀倉雄策先生が、昨年5月に急逝されたことです。先生には本賞の第4回から9回まで、一方ならぬご厚情を頂きました。心より感謝すると共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

この賞の歴史には、創立当初に勝見勝先生その後、亀倉雄策先生と、我が国のデザイン界に偉大な足跡を残されたお二人の貴重なご提言が継りこまれております。この歴史の重さをしっかりと受けとめ、更に実りある賞に育ててゆく所存でございます。次回、CSデザイン賞の授賞式で、皆様にお目にかかる時は21世紀を迎えております。新しい世紀にむけて、ますます広く皆様のご参加をお待ち致しております。

(株式会社中川ケミカル代表取締役社長)

The 10th CS Design Awards

Yukiya Nakagawa

At this time, we would like to sincerely thank those who submitted works for the 10th CS Design Awards, the hardworking judges, the various organizations which have continued to give their support and everybody else concerned.

The CS Design Awards were established in 1982 because of worries about color pollution, and the 1st CS Design Awards competition was held the same year.

Nakagawa Chemical's sheet product, which was developed as a pasting material to take the place of paint, has expanded its uses to signs, show windows and construction site temporary fences, both indoors and outdoors, because it is so easy to use. But its convenience sometimes creates color chaos. Wishing to resolve this problem in as good a way as possible, the CS Design Awards marked its 10th competition, a turning point.

We designed and proposed the NOC2500 color system in 1996, and this color system was awarded the Good Design Prize for Products of Small and Med-

ium Enterprises in 1997 by the Ministry of International Trade and Industry.

For the 10th CS Design Awards, we established the Student Category and solicited works by students using the NOC2500 color system.

Graphic designer Yusaku Kamekura, who served as chief judge from the 4th through the 9th CS Design Awards, died suddenly in May 1997. It was most regrettable that he was unable to see the outstanding works submitted for the 10th CS Design Awards. We offer our heartfelt condolences.

The valuable advice of the two leaders in the graphic design world in Japan, Masaru Katsumie and Yusaku Kamekura, has been incorporated into the history of the CS Design Awards. Acknowledging the weighty significance of this history, we wish to nurture the awards so that they will become even more fruitful.

The award ceremony for the 11th CS Design Awards will be held in the 21st century. We look forward to many more people participating.

President, Nakagawa Chemical Inc.

第10回CSデザイン賞1998募集要項

「色を通じて社会貢献したい」と願う中川ケミカルが豊かな環境作りを目的にCSデザイン賞を設定し、広く作品を募集します。

募集作品

「貼る塗料」として、一般に市販されているサイン・デザイン・装飾用粘着シート(例:商品名):カッティングシート、タフカルなど)を使用したもので1996年4月1日より1998年3月31日までにデザイン制作された作品とする。

A:装飾部門/装飾を目的として制作されたもの

建築ファサード:エクステリア・ウィンドディスプレイ・店舗・インテリア・イベントの空間(原則として閉会時に撤去されるもの)など

B:サイン部門/サイン及びサインシステム(CIも含む)の一部として制作されたもの

大型広告塔から店舗小型サイン・交通施設・住環境施設・複合施設のサインシステム

シンボル、モニュメント(記念碑・時計塔など象徴的でかつアイデンティティの強いもの)

C:輸送機器部門/車・航空機・船舶などの輸送機器全般の装飾(スポーツ・レジャー施設の乗り物もふくむ)

D:実験部門/平面・立体を問わず独創性のある作品

芸術・工芸作品・実験的なもの・その他(既発表、未発表を問わない)

審査員(順不同、敬称略)

永井一正(審査委員長)

田中一光

福田繁雄

菊竹清訓

内田 繁

後援団体(順不同)

社団法人 日本グラフィックデザイナー協会

社団法人 日本商環境設計家協会

社団法人 日本サインデザイン協会

社団法人 全日本屋外広告業団体連合会

社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会

社団法人 日本ディスプレイデザイン協会

日本タイポグラフィ協会

協賛 日経デザイン

主催 株式会社 中川ケミカル

The 10th CS Design Awards 1998 Solicitation Conditions

The Nakagawa Chemical Inc., which is hoping for a "Better World Through Color," established the CS Design Awards with the aim of creating a rich environment and is soliciting works for these awards.

The works to be submitted must have been designed and produced between April 1, 1996, and March 31, 1998, using any type of self-adhesive film for graphic applications generally sold as "pasting paint," such as Cutting Sheets, Tufcal and others.

A: Decoration Category/Those produced for decoration: Building facades, exteriors, window displays, stores, interiors and event spaces (in principle, those that are removed after completion).

B: Sign Category/Signs and works produced as part of a sign system (including CI): Large advertising towers, small store signs and sign systems of traffic facilities, housing environment facilities and comprehensive facilities. Also symbols and monuments: Works which are symbolic and have strong identities such as monuments and clock towers.

C: Transport Machine Category/Decoration of transport machines such as vehicles, aircraft and ships. Includes rides at sports and leisure facilities.

D: Experiment Category/Works with originality regardless of whether they are two- or three-dimensional. Arts, crafts, experimental works and others (can be either published or unpublished, submitted to other competitions or not).

Judges

Kazumasa Nagai (Chief Judge) Kiyonori Kikutake

Ikko Tanaka Shigeru Uchida

Shigeo Fukuda

Supporters

Japan Graphic Designers Association

Japanese Society of Commercial Space Designers

Japan Sign Design Association

Japan Typography Association

Federation of All Japan Outdoor Advertising Association

Nippon Display Federation

Japan Display Designers Association

Cooperator Nikkei Design

Sponsor Nakagawa Chemical Inc.

カタログ制作/株式会社中川ケミカル 第10回CSデザイン賞係 1998年7月

編集/グラフィックデザイン社

表紙デザイン/永井造形研究所

レイアウト/胸形敦子

英訳/藤田シゲ

Catalogue Production:

The 10th CS Design Awards Section, Nakagawa Chemical Inc., July 1998

Edited by Graphic Design Associates

Cover Design: Kazumasa Nagai Design Institute

Layout: Atsuko Komagata

English Translation: Shig Fujita

人間空間に色をさす



本社:〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-7-13 相良ビル4F TEL03(3668)8141(代)

大阪支店:TEL06(543)2661(代) 札幌営業所:TEL011(736)4788(代) 仙台営業所:TEL022(271)9003(代) 名古屋営業所:TEL052(586)5681(代) 福岡営業所:TEL092(431)3013(代)

NAKAGAWA CHEMICAL INC.

Head Office: 4F Sagara Bldg., 3-7-13 Higashi-Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0004, Japan, TEL03(3668)8141

Osaka Office: TEL06(543)2661 Sapporo Office: TEL011(736)4788 Sendai Office: TEL022(271)9003 Nagoya Office: TEL052(586)5681 Fukuoka Office: TEL092(431)3013